

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22048	事業名	病院総合情報システム更新事業		評価分類	B1		
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他( )							
	施策体系	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実			予算科目目	会計	14:病院事業会計	
		基本施策	01:健康づくりの推進と地域医療の充実				款	収1:病院事業費用	
		施策の方向	06:医療センターの機能強化と経営健全化				項	01:医業費用	
重点プロジェクト	-			目	03:経費				
事業期間	R 4 年度 ~ R 12 年度		主な根拠法令等	-					

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	平成27年度に更新した現行システムについては、契約期間5年を満了後、期間を延長して使用しているが、令和4年度末にはシステムのサポート期間が終了するほか、現行PCのOSを更新する必要があることから、令和5年10月から新システムに移行する。	医療センターの外来・入院患者及び職員	医療センターの職員が日常業務で使用する、電子カルテ、看護支援システム、医事会計システム及び各部門別システムの安定的稼働を確保し、診療報酬・制度改正等に対応することで、医療業務の円滑化と患者サービスの向上を図る。	病院総合情報システムの更新として、次の機器等を更新する。 【ハードウェア】 サーバ、パソコン、プリンター等 【ソフトウェア】 (基幹システム)電子カルテ、看護支援システム等 (部門別システム)調剤支援システム、リハビリシステム、透析システム、栄養管理システム、公営企業会計システム等

		年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画		○システム移行準備作業 ・業者選定、契約 ・新システムへの移行作業	○システム移行準備作業 ・新システムへの移行作業 ○新システム稼働 ○システム運用・保守	○システム運用・保守	○システム運用・保守			
	活動実績 (計画通り実施できたか)		令和5年10月の新システム稼働に向け、現行システムの課題等を洗い出すとともに、各部署等と協議・検討を重ね仕様書を作成し、令和5年1月に業者を選定、同年2月に新システムの購入契約を締結した。契約締結後は、業者と連絡・調整を密にし、機器の搬入及びシステムの構築等の準備を進めた。	前年度から引き続き業者及び関係部署と連携を密にし、更新作業を行った結果、計画どおり令和5年10月に新システムを稼働させることができた。	病院総合情報システム保守業務委託により、システムの安定的な稼働と医療事務の円滑化が図れた。				
計画額	事業費	予算額	0千円	237,300千円	236,558千円	30,100千円	21,204千円	30,100千円	
		国・県支出金	0千円						
		地方債	0千円	222,200千円	222,200千円				
		その他	0千円						
		一般財源	0千円	15,100千円	14,358千円	30,100千円	21,204千円	30,100千円	
決算額	事業費	決算額	0千円		229,502千円		21,203千円		
		国・県支出金	0千円		0千円		0千円		
		地方債	0千円		218,900千円		0千円		
		その他	0千円		0千円		0千円		
		一般財源	0千円		10,602千円		21,203千円		
①期間内計画額(R4-7)			297,500千円	②期間外計画額(R8-)		141,700千円	①+②総計画額	439,200千円	

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	21,204千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	システム障害発生件数 新システム導入後、システム障害により、窓口業務に多大な支障を来した件数(ソフトウェアやハードウェアの不具合によるシステム停止等)	成果	件	計画値		0	0	
				実績値		1	0	
				計画値				
				実績値				

判定	評価理由
A	令和5年10月に更新した当該システムは、保守業務委託を行うことで、安定的な稼働ができた。また、診療報酬・制度改正等に対応することで、医療事務の円滑化と患者サービスの向上が図れた。
計画どおり進んでいる	

事業の対象	事業の目的
医療センターの外来・入院患者及び職員	医療センターの職員が日常業務で使用する、電子カルテ、看護支援システム、医事会計システム及び各部門別システムの安定的稼働を確保し、診療報酬・制度改正等に対応することで、医療業務の円滑化と患者サービスの向上を図る。

事業の進捗度合を踏まえた課題事項	
⑥ 課題 (C)	医療事務の円滑化と患者サービスの向上のため、システムの安定的な稼働が図れるよう、引き続き、保守業務委託を継続するとともに、随時、稼働状況の把握に努めていく必要がある。

方向性	
継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
改善・見直し内容	
令和7年度で対応する(した)もの 医療業務の円滑化と患者サービスの向上を図るため、システムの現況等を随時把握し、安定的な稼働を確保する。	令和8年度以降で対応するもの 医療業務の円滑化と患者サービスの向上を図るため、システムの現況等を随時把握し、安定的な稼働を確保する。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
進捗度合		B	A	
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	

1次評価者	地域医療部 病院総務課 医事GL 水越 いづみ
最終評価者	地域医療部 病院総務課長 水越 いづみ